

# 高校倉作劇表現巡り波紋

# 9月県演劇祭作中に差別用語

9月17日福井市内で開かれた県高等学校演劇祭の上演作品で、一部の表現を巡りて主催者と創作者が対立する騒動の事態が起りている。作中に差別用語が含まれ、演じた生徒に批判が及ぶ懼れがあるとして、主催者側は映像化や生徒への脚本配布を取りやめる方針を示した。一方、脚本を担当した上演校の元指導者は「表現の抑圧がまかり通るようになつてはいけない」と主張している。

取材班

渦中の作品は、福井慶林

高演劇部による創作劇「明村徹（60）=福井市」が「バナナ」。バナナ女脚本・監督・演出

県高校演劇祭は9月18日

2月 新型コロナウイルスの感染防止のため無観客で開催  
から現代に残るあらゆる興味

の動きをたどる中で、原発建設され、これが12校が参加した。

の原発再稼働などを描いて、テレビが上演作品をノーカット

が、発音の中で身体障害者が、何でか迷っているか、同じ社員は「作中に福井義林高

に対する差別用語を用いる

演劇部顧問を務め、10月末として、主催者の県高校文

化連盟演劇部会に放映について問題がないか問い合わせ

一方、玉村さんは「原爆を巡る実際の発言を取り上げておらず、差別意識はない」と

本的人権の尊重が表現の自由を回る。生徒が批判される可能性もある」と説明。演劇部の生徒は当初、映像化されないことを残念がっていたが、波紋が広がり困惑しているという。

のメンバー（以下「西田の  
ハナ」）上演実行委員会」  
を結成。今回の決定の撤回  
や、演劇部員への謝罪、演  
劇表現の内容を理由に不利  
な扱いをしないこと、一な  
じを求め、ネットで署名活  
動を始めた。現在6800  
人を超える署名が集まつて  
いる。

り、生徒の安全が確保される可能性がある」とをアレル側に伝える▽上演のDVD化もしない▽例年行っている脚本集配布をしない――の方針を決めた。

回チレド便せ」の方針  
を踏まえ、同校の出演シ  
ンをカットするとしてい  
る。

回連盟演劇部会は福井新

の自由であり問題はないが、差別用語を巡っては基